

復興小公園

関東大震災(1923年9月1日)では、火災が鎮火した要因の一つに公園緑地や広場が焼け止まりとして機能したことがわかり、公園設置の重要性が高まりました。

東京市はこれを踏まえ、震災の焼失区域において、震災復興公園として52か所の小公園を整備しました。

小公園は、小学校に隣接して整備され、近隣住民の憩いの場や地域コミュニティの中心、地域における防災拠点のほか、校庭の延長や教材園などとしての役割を担ってきました。

また、震災復興のシンボルとなるとともに、後の都市公園や児童公園のモデルとなりました。



開設当初の公園鳥瞰図(南桜公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成

- 東京都は、関東大震災100年を契機としたムーブメントの展開として、関係区による復興小公園の再生を後押しします。
- 当時の思想などを踏まえ、防災機能の拡充や地域コミュニティの交流・憩いの場等として公園を再生します。
- 復興小公園の再生を通じて、あらゆる世代に対する防災意識の啓発につなげるとともに、都市の魅力の更なる向上を図り、人に優しくゆとりある空間を創出します。

再生の4つの視点

防災力の向上

平時からの防災意識の啓発につなげ、地域の防災力を向上させる

後世への継承

復興小公園の由来・意義等を後世に伝え継承する銘板を設置する

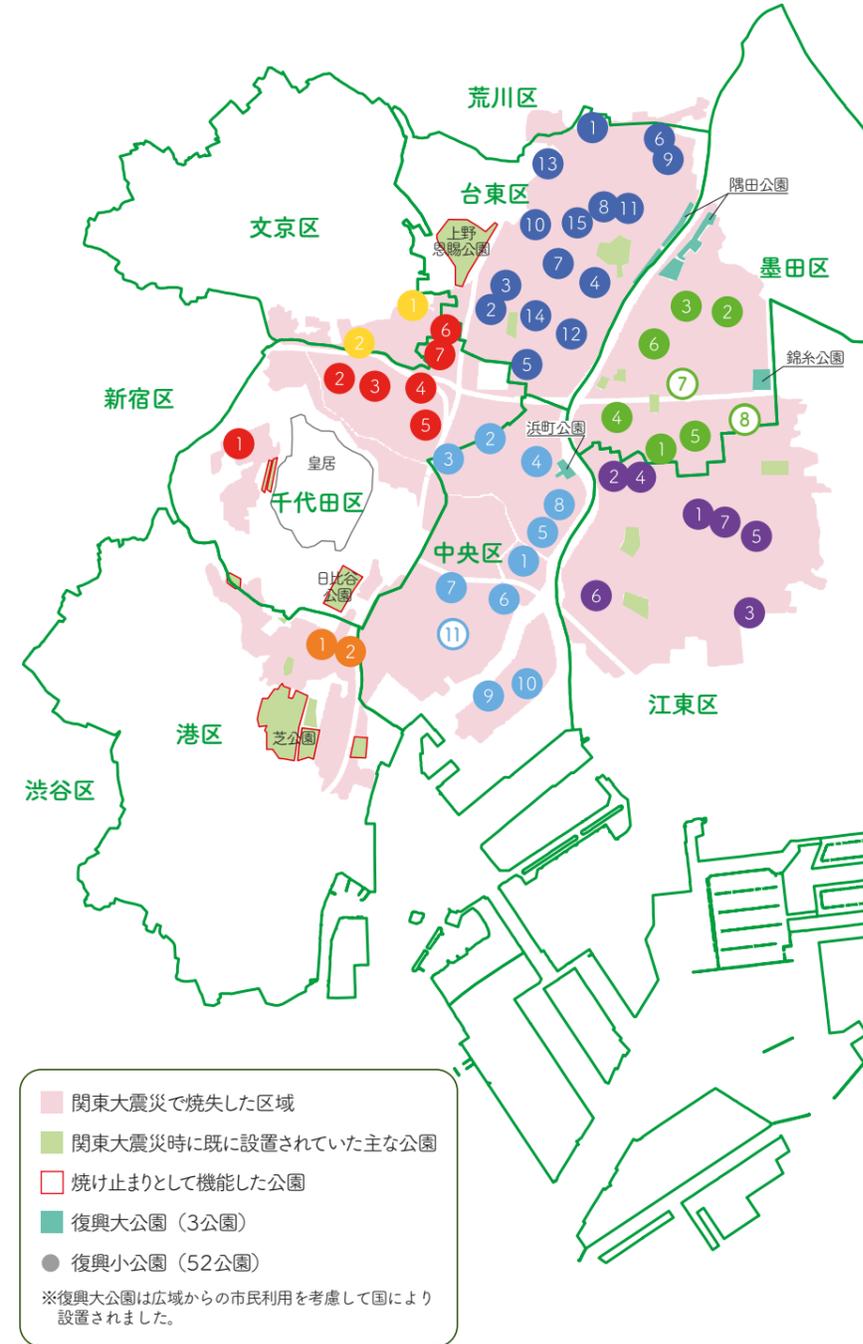
地域の憩いの場

身近な場所にある公園として誰もが集える憩いの場を創出する

遊び・学びの場

こどもが安心して楽しく遊び、学べる環境を充実させる

復興小公園位置図



■ 関東大震災で焼失した区域
■ 関東大震災時に既に設置されていた主な公園
 焼け止まりとして機能した公園
 復興大公園(3公園)
● 復興小公園(52公園)
※復興大公園は広域からの市民利用を考慮して国により設置されました。

千代田区	台東区
1 東郷元帥記念公園 (旧上六公園)	1 東盛公園
2 西神田公園 (旧西小川公園)	2 御徒町公園
3 錦華公園	3 西町公園
4 淡路公園	4 田原公園
5 神田児童公園 (旧神田公園)	5 柳北公園
6 練成公園	6 玉姫公園
7 芳林公園	7 松葉公園
中央区	8 千束公園
1 越前堀児童公園 (旧越前堀公園)	9 石浜公園
2 十思公園	10 山伏公園
3 常盤公園	11 富士公園
4 久松児童公園 (旧久松公園)	12 精華公園
5 箱崎公園	13 金杉公園 (旧入谷公園)
6 鉄砲洲児童公園 (旧鐵砲洲公園)	14 小島公園
7 京橋公園	15 金竜公園
8 蛸殻町公園 (旧江東公園)	墨田区
9 月島第二児童公園 (旧月島第二公園)	1 中和公園
10 月島第一児童公園 (旧月島第一公園)	2 業平公園
11 築地公園 (1977年廃止)	3 横川公園
港区	4 両国公園
1 南桜公園	5 菊川公園
2 桜田公園	6 若宮公園
文京区	7 永倉公園 (1971年廃止)
1 新花公園	8 茅場公園 (1948年廃止)
2 元町公園	江東区
	1 元加賀公園
	2 八名川公園
	3 東陽公園
	4 森下公園
	5 川南公園
	6 臨海公園
	7 扇橋公園

・3ページ以降に現在における各公園の情報を掲載しています。
 ・各公園の小学校との位置関係や施設の設置状況については、以下のアイコンを参照してください。

小学校との位置関係
 I 校庭に隣接 II 校舎に隣接 III 道路が介在 IV その他
公園内の施設
 10 遊具 11 健康遊具 12 休憩舎 13 トイレ 14 広場
 15 スポーツ場 16 噴水 17 池流れ・噴水 18 じゃぶじゃぶ池 19 ミスト
 20 ビオトープ 21 モニメントオブジェ 22 防災トイレ 23 かまどベンチ等
 24 防災井戸 25 ソーラー照明灯 26 その他の防災施設

I II III: 小学校が中学校に変更されたものを含む
 IV: 小学校が廃校又は用途変更されたものや、公園自体の位置が変更となったものなど

- 10 遊具: 一般遊具や複合遊具等
- 11 健康遊具: 軽い運動等を目的とした遊具
- 12 休憩舎: 四阿や日陰棚等
- 13 スポーツ場: 防球ネット等で区画されたスポーツ広場
- 14 じゃぶじゃぶ池: 水遊びができることも用プール
- 15 ミスト: 暑熱対策用のミスト設備
- 16 防災トイレ: 非常時に使用できるトイレ
- 17 かまどベンチ等: 非常時に炊き出しに使用できるベンチ・スツール
- 18 防災井戸: 非常用水となる井戸
- 19 その他の防災施設: 応急給水施設、土のうステーションなど